

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 3 月 12 日 (18:00 ~ 21:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 藤井・三河・佐藤・吉田・小田・坪崎・吉川・鈴木・岩渕・長谷川・新井・山戸・大瀬良・吉増

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	11 人	3 人	人	14 人

前回の改善計画	利用者様の事前情報を共有し、利用開始時には情報を活かしたコミュニケーションから声掛けを実施し、本人や家族が必要としている支援をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始前の事前情報のミーティングは実施していなかったものの、利用前のサマリー公表や、それについての情報はしっかりと共有していたが、細部まで伝わり切っていなかった部分もあった。利用開始後は様々な角度から情報を収集することができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	6	7		14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		8	5	1	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	10	2	1	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		8	4	2	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 事前情報をしっかり見て自分なりに「こうした方がいい」と考えている。 - 利用時もコミュニケーションをしっかりと取り、その方に必要な事を考え実施させている。 - 話をよく聞き、過度にならないようにしている。 - 家族にも積極的に話を伺っている。・個人で情報を取ることはできている。 - 家族の要望や本人の状況を把握することはできている。 - 利用者の情報共有は出来ている。 - 利用者がまだ慣れていない時期なども声掛けや気遣いなど気を付けている。 - 利用前の情報から、本人に適した言葉掛けやコミュニケーションをとる事。 - 利用者や家族に対しコミュニケーションを図るために積極的に声掛けを行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 情報やニーズについて情報共有できていない。慣れていない時期の声掛けや気遣いが出来ていない。 - 書類での情報に無いことが突発的にあると対応が的確に行えない。 - 利用者や家族が必要としている支援があまりできていない - 利用開始前のミーティングなどは行っていない。 - ミーティングは実施していない。個人が取った情報量に差がある。 - 利用開始前のミーティングをしていない。・共有できていることと出来ていない点がある。 - 簡単な情報のやり取りだけで終わってしまうから。 - 個人の意識に差がある。共有するための呼びかけに対する懸命さが見られない。 - ニーズに合わせた個別の支援をするという意識が足りない。一辺倒になってしまいがち。	

- ・家族とコミュニケーションが取れない。
- ・何を必要としているのか全て把握できていないため。
- ・家族や介護者のコミュニケーションが足りない。
- ・自分の中で納得しているから。
- ・利用前の情報と実際利用してからが違うことがあり、戸惑う部分が少しあり、声掛け等が行えていない部分がある。
- ・家族とのコミュニケーションが少なく、挨拶程度の会話になってしまい関係作りがあまりできてない。
- ・介護させてもらう側として、家族と一定の距離を置いてしまう。
- ・ミーティングなどを通じて情報を共有できていない。
- ・事前情報を共有していても何を必要としているのか、どんな支援が必要なのか理解してない。
- ・利用者の状況を理解しないまま放置しているから。
- ・ケアプランを把握できてない。
- ・ケアプランに目を通すことを怠っている。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

新規利用者様の利用開始前には、事前情報からミーティングを実施し、利用後のケアについて統一を図る。
また、どのような疾病や障がいがあるのかを公表し、利用後のケアや対応について意識統一をする。

事-①

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	4 人	9 人	1 人	14 人

前回の改善計画	各利用者様のケアプランを細部まで確認し、利用者様本人の「～したい」を実現するべく、職員全員が対応できるようにする。その中で知り得た情報は職員間でしっかり共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	各利用者様のケアプランを確認することに関しては、職員によってその必要性を理解していない職員もあり、具体的な「～したい」ということに対しては、一部の職員しか実践できていない。定期的な会議の開催で意識統一を図っているが、意識改革が必要であると考えます。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？		2	10	2	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		2	9	3	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		2	9	3	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		2	7	5	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ケアプランの確認は常にしている。 ・日常の関りで利用者の情報は共有している。 ・ケアプランの見直しをし、利用者のニーズを理解と確認を実施し行動した。 ・本人の希望、例えば歩行訓練などの実践を行えている。 ・利用者の、まずできる部分 (事) から始めてもらえるように声掛け促す。 ・かかわったことについては申し遅れている。 ・利用者がしたいことを行事等で設定している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・最終的、当面の目標、ゴールを理解していない。 ・発言し、対応が出来ていない。 ・利用者の目標が全て把握できていない。 ・個人のケアプランは確認するが、日常の関りの中で、きちんと支援に繋がっていないことが多い。 ・ケアプランの確認を全員分できていない。「～したい」をなるべく実現している。 ・職員の都合に合わせた対応をしてしまうことが非常に多い。 ・本人の目標 (ゴール) が把握できていない。 ・ケアプランの細部までの確認不足。 ・ケアプランの細部の確認や情報共有が出来ていなく利用者の目標に沿った活動があまりできていない。 ・ケアプランを頻繁に確認しない。	

- ・利用者のケアプランを見ていない。
- ・利用者全員の目標を把握できていない。
- ・ミーティングに参加できていない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

利用者様本人の「～したい」という要望を聞き入れる為、様々な角度からアプローチをかけ情報を引き出せるような対応をする。また、本人やご家族の意見や意向をしっかり確認し、それらの意見を取り入れ、レクリエーションに活かしていけるよう、しっかりと関係性を強化していく。

事一②

事業所自己評価・ミーティング様式

実施
日

平成 年 月 日 (: ~ :)

3. 日常生活の支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	10 人	4 人	人	14 人

前回の改善計画

ご本人の生活状況をしっかりと把握し情報を共有する。声にならない声を言語化し、本人の気持ちに沿った支援を実施する。

前回の改善計画に対する取組み結果

各利用者様の情報共有はしているものの、職員の理解不足も著明である。利用者本人の思いを傾聴するものの、過度に感情移入してしまう職員もいる為、サービス提供の部分で過剰サービスになってしまう部分もみられた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	8	5	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	9	2		14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		2	9	3	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	8	1	2	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	10		3	14

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・特変時を含め、状況に合わせた対応は都度できている。
- ・体調変化が無いが、よく観察している。
- ・声にならない声を言語化になっているかどうか自信はないが、気付いたことは申し送り等で話している。
- ・利用者の気持ちや体調の変化など共有している。
- ・個人では意識をしながら利用者の気持ちの変化や心情をくみ取っている。
- ・接する中で変化に気付いている。職員間での情報の共有が出来ている。
- ・日々の利用者のじょうきょうに合わせて具体的な介護を実践している。
- ・本人の残存機能を活かせるよう心掛けた基礎的介護。体調の変化時、すぐに報告し情報共有する。
- ・食事、入浴、排泄等の状況に合わせた介助は出来ている。
- ・状況に合わせた介護、気持ちや体調の変化に合わせた支援は行っている。
- ・気持ちや体調の変化に気付いた際は、速やかに報告・記録するように努めている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者情報などを見ないとわからない。
- ・声にならない声を言語化する職員が限られている。
- ・利用者の自宅での生活環境が把握できていない。
- ・ミーティングにおいて発言できなかった。
- ・本人の以前の暮らし方が把握できていない点がある。再度確認を要する。

- ・ 10 個まで把握できていない。
- ・ チームでの一貫した対応に非常に不備が目立つ。
- ・ 本人の気持ちや体調の変化に即時に支援できていない。
- ・ 個人に合わせたケアを行いたいが、時間で行ってしまっている。
- ・ 職員同士でも把握していない事が多い。
- ・ 個人プレイを見逃してしまい、共有しなければならない情報を伝えられていない。
- ・ 自宅での生活環境（以前の暮らし方）を把握できてない。
- ・ 事前情報が少なかったり、病院から移られてくる方は、自宅で生活していたのが何年か遡ってしまうため曖昧で把握しにくい。
- ・ 基本情報等の確認を怠っている。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

利用者様本人としっかりコミュニケーションを図ることができる職員とできない職員がいるため、ケアの仕方・対応にバラつきがあり一貫性がなかった為、今後は情報を共有し、支援方法を統一させ、利用者様本人の希望に沿った支援をする。しかし、本人の希望を聞きすぎることによるデメリットもあるため、臨機応変に対応していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	平成 年 月 日 (: ~ :)
-----	--------------------

4. 地域での暮らしの支援

メンバー	
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	2 人	6 人	6 人	14 人

前回の改善計画	地域資源を活用しながら、これまでの生活スタイルを維持し、家族や地域との関係が切れることが無いような支援をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者様によっては、住み慣れた地域とかけ離れている方たちが多く、以前の関りが少なくなっている。しかし、一部の利用者については、昔ながらの友人や同じ町内会の方が面会に来られることも多く、開放的に運営できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		3	6	5	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		3	5	6	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		1	6	7	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？			2	12	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・家族が教えてくれる基本情報内の事は、ある程度把握している。 ・本人や家族の聞き取りを基に生活スタイルの確認、維持に努めた。 ・利用者、家族と出来るだけコミュニケーションを多くとるように心がけている。 ・事業所が直接接していない時間の把握については、家族に様子をうかがうなど把握に努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源の把握、民生委員について等把握していない。 ・民生委員というものについて調べたりしていない。何かわからない。 ・自宅での過ごし方や地域との関りまで確認する余裕がない。 ・地域の資源などを活用して本人に繋げる方法が思いつかない。 ・家にいる時間まで把握していない。地域資源を活用していない。 ・民生委員や地域資源の意味がよくわからない。 ・本人の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等の把握が出来ていない。 ・民生委員などがあまりわからない。 ・地域の資源活用場がない。後見人の方との交流が少なかった。 ・交流の場がない。民生委員の方々とは話をする機会がない。 ・本人の知人、友人などを把握していない。	

- ・ 民生委員や地域の資源等を把握できていない。
- ・ 利用者の生活に、どこまで踏み込んでいいかわからない。
- ・ 地域との関りや資源の把握については行えていない。
- ・ 地域との関りを意識していない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

地域資源とは何か、地域密着型事業所の必要性和意味をしっかりと理解し、活用しながら支援していく。

事一④

事業所自己評価・ミーティング様式

実施 日	平成 年 月 日 (: ~ :)
---------	--------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー	
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	8 人	5 人	1 人	14 人

前回の改善計画	利用者様の日々の様子をしっかりと把握するとともに、情報共有・記録管理・報連相を徹底する。利用者様の希望に沿った柔軟な対応を心掛ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	情報共有・記録管理・報連相の徹底に関しては、職員の能力・資質に個人差があり、できる職員・できない職員に分かれてしまい、全ての職員が徹底することはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？			3	11	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	9	3		14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1	8	4	1	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	6	4	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の様子、変化などに目を配ることができる。臨機応変な対応ができる。 ・個人では、記録の見返し、情報確認や報連相を徹底している。 ・利用者の変化に気づき、共有することができている。 ・日々、細かいところまで様子を見ている。 ・通い、宿泊、訪問に関しては柔軟な対応が出来ている。 ・利用者のその時の状況に合わせ、声掛け、介助が出来ている。 ・日々の様子管理をしっかりする。 ・積極的に関り変化に気付くように努めている。 ・申し送り等で情報を共有することができている。 ・柔軟な支援については職員間で都度相談しながら行えている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・報連相がまだまだ足りてない。危機管理能力不足。 ・チームとしては、改善計画通りにはいっていない。 ・状況判断、優先順位等ができていない。 ・地域の資源を使って支援できていない。 ・地域の資源がわからない。 ・ニーズに合わせた柔軟な支援が出来なかった。 ・どのように接して良いかわからない。	

- ・地域資源は活用していない。資源ってなんでしたっけ。
- ・どうやって地域資源を活用すればよいかわからない。
- ・気づきの部分にバラツキがありチームに一貫性がない。
- ・利用者の様子について把握し切れていないところがある為、柔軟な対応が出来ない。
- ・状況というものが刻一刻と変化していくという認識が全く足りていない。
- ・地域の資源をつかっていない。
- ・日々の記録の見落とし、職員間の報連相が出来ていない。
- ・地域の資源を使えていない。
- ・記録や申し送りが不十分で共有できないことがある。
- ・資源を活用するように意識して取り組めていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
引き続き利用者様の日々の様子をしっかりと把握するとともに、情報共有・記録管理・報連相を徹底する。利用者様の希望にできるだけ沿えるように、柔軟に対応する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施
日

平成 年 月 日 (: ~ :)

6. 連携・協働

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	3 人	11 人	14 人

前回の改善計画

地域との連携を強化し、町内会の活動には積極的に参加する。
また、事業所のイベント等にも参加していただけるよう促し、地域密着型としての関係性を強化する。

前回の改善計画に対する取組み結果

町内会のイベントとして、町内清掃に参加するべく予定をたててはいるが、職員不足からか現場を離れることがなかなか出来なく、参加できない事もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？			1	13	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			1	13	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？				14	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	1	1	11	14

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・イベントに参加できなかった。
- ・地域の活動やイベント、会議に参加していない。
- ・会議やイベント参加の機会がない。
- ・地域との連携や町内会の活動に参加できていない。
- ・事業所以外との会議や活動に参加の仕方がわからない。
- ・事業所以外での取り組みの内容を把握できていない。
- ・機会がない。
- ・地域イベントに参加できていない。
- ・勤務外での参加が難しい。
- ・地域、その他のサービス機関と連携に関わっていない。
- ・きっかけがわからず、どのような方法で取り組んでいいかわからない。
- ・余裕がない

- ・ 思ったり考えたりしたことがない
- ・ 内容を把握していない
- ・ 地域、自治体、サービス機関と関わる機械が無い。
- ・ 地域の住民や子供たちが、事業所を訪れるようなイベントなどを企画していない。
- ・ 家庭の事情の為参加できていない。
- ・ その他のサービス機関、自治体、地域包括支援センターと会議をしているのか知らない。
- ・ 会議や地域との関りについては全く行えていない。
- ・ 会議を行っているか素人していなかった。
- ・ 団体の活動やイベントも把握していない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

町内会をはじめ、地域の機関・学校等とも連携し、様々なイベントや行事、また、利用者様の生き甲斐また支えになれるよう協働していく。

事一⑥

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	平成 年 月 日 (: ~ :)
-----	--------------------

7. 運営

メンバー	
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	2 人	9 人	3 人	14 人

前回の改善計画	全ての職員が積極的に意見を発信出来ていないこともあるため、今後は積極性を高め意識を統一させ、運営に活かしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員会議やミーティングで、意見を発信する機会があるにも関わらず、積極的に意見を出さない者、「我関せず」的な状況が多く見受けられた。積極性を求めるも、職員個々の意識が弱く運営にはなかなかつながらない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	3	2	8	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	4	5	3	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？			3	11	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	1		2	11	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者、家族の声を第一に考え運営に活かしている。 ・利用者、家族の意見はしっかり聞くように努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・苦情の時の対応がわからない、意見も言えない。 ・積極的に地域と協働した取り組みを行っていない。 ・意見の発信をしない職員がいまだに見られる。 ・発信の場はあるものの、自信のなさや意見を否定されることを怖がっている。 ・地域からの苦情は受けない。 ・積極性や意識の向上、統一については現状全く変わっていない。 ・そもそも職員の意見などを運営に活かしていく方針であるのか疑問に思うことがある。そしてそのような事業所が本当にあるのかと思う。 ・運営の在り方がわからない為、職員としての意見が言えていない。 ・運営の在り方を知ろうとしていない。 ・自分の意見を積極的に言えていない。 ・積極的に自分の意見を発信することが苦手。	

- ・事業所との関係不足。情報を共有できていない。
- ・個人的に地域の方と会話する機会がない。
- ・事業所の事もまだまだ分らないことが多い。
- ・地域の方からの意見や苦情を聞く場面无い為。
- ・積極的に意見を言えない。
- ・意見や苦情があるのかないのか、あったとしても運営に反映されているのかわからない。
- ・職員として意見することは出来ていない。
- ・地域の方から意見や苦情を耳にすることがない。
- ・運営とは何か理解できていない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

事業所の運営に関して、まだまだ理解不足の面があり職員の声を反映させにくいこともある為、ミーティングを通して意見をくみ取った事業所運営をしていくとともに、地域や家族から必要とされる取り組みができるような体制づくりを強化していく。

事-⑦

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

8. 質を向上するための取り組み

メンバー

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3 人	7 人	4 人	14 人

前回の改善計画	職場内研修は充実しているものの、外部での研修には参加できていない現状があるため、今後は積極的に参加を促し、個々のレベルアップを図る。リスクマネジメントに関しては、担当職員を配置し、徹底して取り組み、事故を未然に防ぐ。
前回の改善計画に対する取り組み結果	職場内研修は、介護技術・知識・医療の面でとても充実した研修を実施することができた。来年度も引き続き継続し、内容のある研修を企画していきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	7	4	2	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	2	3	6	14
③	地域連絡会に参加していますか			1	13	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	5	2	5	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・外部の勉強会に参加することができた。 ・職場内での研修や勉強会は定期的実施している。 ・スキルアップさせるために研修があれば参加している。 ・リスクもここで考えて少しずつ対策している。 ・少しずつではあるが外部研修に参加できている。 ・職場内研修も全員が参加できるようにしている。 ・支援学校の学生の受け入れや、消防などの機関との連携が取れている。 ・個人ごとのヒヤリハットをまとめることができた。 ・普段から事故が怒らないようにリスクマネジメントに取り組むよう心掛けている。 ・職場内研修に数回参加できた。 ・リスクを意識して介護にあたるように努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連絡会に参加してない、どのようなものか理解してない。 ・スキルアップの為の研修あることすら知らない。研修あることすら知らずしてないから。 ・職場外での研修には参加できておらず、リスクマネジメントを担当職員に任せっきりになっている。 ・正直、その余裕がない。 ・地域連絡会ってわからない。関わる意味がわからない。 ・リスクマネジメントの取り組みが少ない。 ・各個人の意識が薄い。 ・事業所のイベントが中止になり行事の参加が不可能になる。	

- ・町内会の活動など把握してない。
- ・地域にどんな機関があるか理解していない。事前の準備不足。
- ・集計のみで具体策を立てられていない利用者がいる。
- ・スキルアップもしたいが、基本がわからないのでスキルアップができない。
- ・担当職員と話し合いをする時間がなかなか取れない。
- ・家庭の事情により職場外の研修の実施や参加、資格取得やスキルアップができない。
- ・研修や連絡会をやっているのかわからない。
- ・スキルアップの為の研修や地域連絡会には参加していない。
- ・積極的に行えていないため。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

職員の資質を向上させるための職場内研修は、引き続き多種多様実施していく。また、職場以外での外部研修についても、希望の有無関係なしに積極的に参加を促し、個々のレベルアップにつなげていく。リスクマネジメントについては常日頃から実施しているが、事故対策委員との連携が取れておらず、危機管理能力がやや弱い傾向がある為、特に力を入れていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

9. 人権・プライバシー

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	6 人	6 人	2 人	人	14 人

前回の改善計画	身体拘束・虐待については引き続き注意を払い、言葉のかけ方等にも誤解を招くような発言はしない。個人情報漏洩にも細心の注意を払い、取り扱いには十分注意する。
前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束に関しては一切行われていない。虐待に関しては、一部で声掛けの仕方が誤解を招くような事例があった為、即時対応した。拘束や虐待について理解不足の点がある為、再度教育する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	3	2		14
②	虐待は行われていない	9	3	2		14
③	プライバシーが守られている	8	3	2	1	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	2		9	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	7		1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 接客、サービスを心掛け、クレーム対応又はクレームが出ないようにしている。 - 本人の嫌がる事は行わない。介助・ケアに配慮している。 - 一部で誤解を招くような発言があった。 - やむを得ない場合を除いて、身体拘束はしていない。 - 身体拘束や虐待、利用者が嫌な気持ちになるような発言はしなかった。 - 利用者個人ごとに、その人の気持ちを考えながら、話すようにしている。 - 個人情報も注意し取り扱いに十分注意している。 - 身体拘束、虐待をしない。プライバシーの保護。 - 身体拘束、虐待は行われていない。プライバシーが守られている。利用者を第一に考え誤解を招くような発言はしない。 - 身体拘束、虐待は行っていない。 - 後見人制度は全てではないが理解するよう努めている。 - 個人情報が漏洩しないよう注意を払っている。 - プライバシーも守るよう意識してケアを行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度を活用していない。理解できていない。	

- ・知識、勉強不足、自分の怠慢。
- ・コミュニケーションの取り方を職員に完全に任せてしまい、細かい指導を怠っていた。
- ・場面など考えて会話していない。
- ・成年後見制度の活用方法がわからない。
- ・成年後見制度に関わる機会がない。
- ・必要な方に成年後見制度を活用。
- ・後見人制度については理解が不十分である。
- ・個人情報については管理が不十分な事がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
---------------	-----------

身体拘束・虐待について、職員それぞれの捉え方が不鮮明な部分が多く、定義として定まっていない部分があり食い違いが発生していることもあったが、今後は学習会を多く実施し制度説明や知識不足を補う取り組みも実施していく。また、利用者様に対する声掛け等の対応も、バリデーションをしっかり学習し適切な対応を実践していく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

人名	日成工業株式会社	代表者	池田 郁乃	法人・事業所の特徴	・調理師免許保持者、又は料理が得意な職員による利用者様への料理提供。 ・重度の方でも対応可能なスロープ浴槽での入浴の提供。 ・介護職員による、利用者様・家族様に対する丁寧な対応。 ・独自の社内研修を実施し、職員の資質向上を図る取り組みをしている。
業所名	小規模多機能つどいの郷 八重桜	管理者	野呂 亨久		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	4人	人	人	14人	人	18人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
事業所自己評価の確認	職員の意見の中には、意識の低さから出ている結果もあるので、それらの意見を少しでも改善するようにしていく。	会議や研修の場を多く設け発言の機会を与えているものの、積極的に意見等を発言する者が決まっておらず全員の意見を聞くことに繋がっていない。		今後も職員に対し積極的に意見を述べる機会を多く与え、自分達にとって働きやすい環境を整備できるように求めていく。働く側の意識改革を積極的にやっていく。
事業所のしつらえ・環境	事業所のイベントを開催するにあたり、地域の方達にも来ていただけたらという宣伝し、今後気軽にきていただけるような環境を整備していく。	地域の特性なのか、町内会に加入している住民も少なく、閉鎖的であるが故に気軽に来ていただけた環境になりにくい。		地域密着型と呼ばれる性質ではあるが、「地域との連携を」という部分に関しては机上の空論であり、多くの理想論でしかない。地域住民にとっては興味のないことではないかなと思います。その中で、連携を取れる内容を読み取り我々が立ち入る事ができる部分で実施していきたい。
事業所と地域のかかわり	八重桜独自の「介護カフェ」の認知度を拡大させていく。地域住民にとって相談の窓口になれるように活動していく。	上記と同様。		地域にある支援学校と連携を取り、様々な実習の受け入れと介護人材の確保と知名度を上げる取り組みを行う。
地域に向かい本人の暮らしを支える取り組み	引き続き該当利用者様について、地域ケア会議を開催し、町内会と一体となったケアを実現していく。	現在の段階では、地域会議を開催するに該当する利用者がいないため未実施。しかし、昨年度の実績に対する評価は高く今後も期待されている。		地域会議での活動内容の中から、看取りに関する評価が非常に高く、その取り組みについては今後も引き続き取り組みでほしいとの話もあったため、事業所側として積極的に取り組む。

運営推進会議を 活かした取組み	運営推進会議を定期的に開催し、町内会の要望も積極的に取り入れ事業所運営していく。	運営推進会議の定期的な開催をしながら、町内会の要望を聞き入れられることは出来ている。	運営推進会議を定期的に開催し、町内会や地域住民の意見を聞き取り事業所運営に活かしていく。また、地域の特性を活かしたイベント等を実施し、開放的な事業所であることとしつかりとアピールしていく。
事業所の 防災・災害対策	年2回の防災訓練だけでなく、独自の訓練も実施。それに加えて救命講習も実施し、緊急時の対応に役立てるようにする。	防災訓練の他に救命講習や AED の使い方の方の研修も開催することができ、緊急時の対応にも役立てる事が出来ている。	防災訓練に関しては引き続き実施するが、地域の特徴である洪水対策として事業所入口・非常口入口に止水板の設置を検討。